

(9月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		11,961	100	12,704	89	97	87	-	-	北海道、青森、岩手産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は生育順調で計画を越える出荷が続いている。9月も平年を上回る出荷が予想される。青森産は高温の影響で平年を下回る出荷が続いているが、9月には前年並みに回復する見込み。岩手産も8月はやや少な目の出荷であったが、9月は出荷ピークに入ることもあり平年並みを予想している。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
にんじん		6,496	100	7,192	122	98	110	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は6月の干ばつの影響により初期生育は悪かったことと8月下旬からの冷え込みにより後半の肥大が見込めない等の理由から小ぶりの仕上がりとなり、前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
はくさい		8,307	100	8,308	77	88	80	-	-	長野産中心の入荷で全体の9割を占める。長野産は干ばつの影響により作柄は悪く、平年の80～90%の出荷量となっている。8月下旬からは降雨もあり、9月については前年並みに回復する見込み。全体の入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。
キャベツ類		14,472	100	14,564	84	83	85	-	-	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬産は8月中旬から前年並みの出荷量に回復。9月は8月を上回るペースでの出荷が見込まれる。岩手産は干ばつや低温高温、豪雨など天候の乱れから出荷量が安定しなかった。8月下旬からようやく持ち直し、9月は前年並みとなる見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。
ほうれんそう		1,015	100	1,189	764	98	703	-	-	岩手および群馬、岐阜産が市況をリードする。岩手産は盆明けから順調な出荷が続いている。9月はさらに量的に増加する見込み。群馬産は生育は順調であり、平年を上回る出荷量が見込まれる。全体の入荷量は前年並、価格は前年並をやや下回る見込み。

(9月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ねぎ		4,501	105	4,759	337	77	270	234	5.2	青森を中心とする東北産が市況をリードする。青森産は9月に入ってから収穫が本格化する。ピークは9月中旬から10月いっぱいまで続く見込み。ねぎについては昨年の高値を受け全国的に作付けが増えている。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
レタス類		8,660	105	8,688	168	86	154	-	-	長野産中心の入荷で全体の約8割を占める。長野産は高温障害や降雹の被害により出荷数量は落ち込んでいる。9月に入っても数量の回復は見込めず、現状のままの入荷は横ばいと見込まれる。全体の入荷量は不作だった前年を上回り、価格ほぼ前年を大きく下回る見込み。
きゅうり		7,692	100	7,813	233	99	251	187	2.4	福島を中心とする東北産に、埼玉を中心とする関東産の抑制ものが出回り市況をリードする。福島産は露地もの入荷が減少し、抑制栽培が増える。ピークは9月上・中旬。入荷量は前年を上回る見込み。埼玉産の抑制ものは9月上旬からの入荷となり、入荷量は前年並の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
なす		3,573	101	4,143	290	95	261	-	-	栃木、埼玉、茨城産中心の入荷で全体の約6割を占める。栃木産は8月の入荷は少なかったものの、9月は増加に転じ、前年を上回る見込み。茨城産は高温の影響により赤なすや実ボケも見られるが、生育は順調。9月は平年を上回る入荷が見込まれる。埼玉産は雹害の被害も回復したが、入荷量は増えず徐々に減少しながら推移する見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。

(9月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
トマト		9,020	101	9,286	299	94	277	111	1.2	福島、青森を中心とした東北産に、千葉、茨城を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。青森産は生育順調。大きなピークはないが、順調な入荷が見込まれる。福島産も生育順調で、9月中旬まではピークとなり潤沢な入荷が見込まれる。茨城産は猛暑の影響も少なく生育は順調。9月中下旬がピークで中心階級はL。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		2,272	103	2,396	320	94	256	-	-	茨城、岩手産中心で全体の約8割を占める。茨城産は、春作が遅れたため、抑制ものも平年より出荷の遅れが予想される。作付けは平年並みで、ピークは10月に入ってからとなる見込み。岩手産は9月上旬から2回目のピークに入る。9月も潤沢な入荷が見込まれ入荷量は前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年上回り、価格は高騰した昨年を下回る見込み。
ばれいしょ		7,416	105	7,186	86	124	106	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は8月25日頃から収穫が本格化する。今年は豊作傾向で入荷量は前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。
たまねぎ		10,910	100	10,888	71	107	82	-	-	北海道中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道産は倒伏が早く平年に比べ小ぶりとなっている。トータルでは前年を下回るが、9月については前年並みの入荷と見込まれる。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。